

遠隔電源指令盤 **16ch**

JITAN SWITCH

取扱説明書

～遠隔電源操作手順書～使用者編～ver.1.0

はじめに —

この度は「JITAN SWITCH」をご利用いただきありがとうございます。

本製品をご使用時にはこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いいただき、いつでも見ることができるよう大切に保管してください。



この製品は海外ではご利用になれません

製品についてのお問い合わせはこちら

TEL: **048-485-8593**

<https://questar.ac>



遠隔基本操作手順

はじめに

下記 URL よりログインしてください

※パスワードを忘れた場合は「パスワードを忘れた場合」より再設定できます

操作画面URL

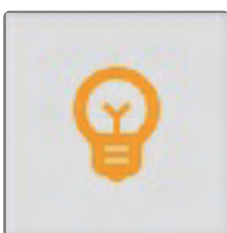
<https://power-controller.cloud-sign.com/>



操作画面



スイッチの状態



スイッチON状態

タッチすると
OFFになります



スイッチOFF状態

タッチするとON
になります



異常検知状態

漏電遮断検知状
態、通信不良、未
使用ボタンの表
示など異常状態
を示します

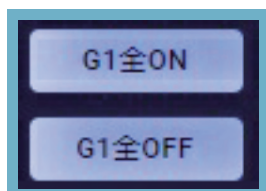
※対処方法はP4
参照



待機状態

ON・OFF・異常
などのステータ
スを取得する前
に表示

グループ一括操作



縦一列のスイッチをグループとして、一括でON/OFFすることができます。

通信の接続状態

接続状態: ● 正常

親機とサーバー間の通信が正常な状態です

接続状態: ● 未接続 (指令盤)

親機とサーバー間の通信が未接続状態です

※通信が未接続になると表示されている各ボタンはすべて赤色 or 黄色点灯となります。

「遠隔操作」「手動操作」

子機モード切り替えレバー(遠隔⇄手動) : 原則として「遠隔」に設定してご使用ください。

万が一システムに不具合が生じ、遠隔で操作ができなくなった場合、復旧するまでの間、下記の手順に沿って操作してください



Ver.1

「手動」に切り替えて、分電盤のブレーカを用いて手動でON/OFFしてください

※「手動」に設定されていると、操作盤上は操作できているように見えますが実際にはONの状態のままとなります。ご注意ください。



Ver.2

「強制オン」また「強制オフ」に切り替えて操作が可能です。

※「強制」設定では操作できず異常検知表示となります。

異常検出時の原因と対処方法

漏電遮断の発生や通信異常を検知した場合にはボタン表示が赤点灯となります。赤点灯が発生した場合には以下を参照して対処してください。



異常検知状態

漏電オプション設置時のみ

- 原因① ブレーカの許容電流を超えてブレーカが遮断されている
・ブレーカの遮断電流を確認し、許容電流の範囲内で運用してください
- 原因② 漏電が発生している
・上記対応をしてブレーカをONにしても再度落ちる場合には漏電が発生している可能性が高いので、漏電が発生している箇所を特定、是正してブレーカをONにしてください

漏電オプション未設置時

- 原因① 未使用ボタンの表示設定がONになっている
・使用していないボタンの表示設定をOFFにしてください
- 原因② 親機⇄子機間通信不具合
・親機と子機間の通信ケーブルが断線またはショートしていないか確認してください。
- 原因③ 親機⇄子機間通信不具合
・子機内のフル2線式リモコンのアドレス設定（ディップスイッチ）を確認してください。アドレスに誤りがあった場合には正しいアドレスに再設定してください。
- 原因④ 親機⇄サーバ間の通信不具合（表示中のすべてのボタンが赤or黄点灯）
・親機の電源が入っているかどうか確認してください
・操作画面の右側にある「接続状態：●正常」をご確認ください。「接続状態：●未接続」となっている場合、下記お問い合わせ窓口にご連絡ください。
※遠隔操作ができなくなっているため、復旧までの間は切り替えレバーを「手動」（Ver2では「強制オン」）にしてご使用ください。

Ver.2のみ

- 原因① 子機が「強制オン」または「強制オフ」に切り替わっている
・子機の切り替えレバーの状態をご確認ください

上記対応後も赤点灯が解消されない場合は下記までお問い合わせください

TEL: **048-485-8593**



We visualize your needs.

クエスト株式会社

<https://questar.ac>

